

当院で診療を受けられた患者さん・ご家族様へ  
臨床研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた試料・情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の試料・情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。

食道癌患者におけるサルコペニアと腫瘍免疫機能の関連

1. 対象となる患者さん

2008年01月～2022年12月の間に当院で食道癌手術を受けられた患者さん

2. 研究責任者

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 辻本 成範

3. 研究の目的と意義

食道癌患者さんは、しばしば体重減少、筋肉量低下、低栄養から筋力低下、身体活動低下(サルコペニア)をきたし、免疫機能低下から予後不良となる可能性があります。この研究は食道癌患者さんのサルコペニアに関するカルテ情報を解析し、また試料(切除標本)を用いて腫瘍免疫機能を研究することで、サルコペニアと腫瘍免疫機能の関連を明らかにすることを目的としています。この研究の成果は、食道癌治療における新たな治療戦略開発に繋がることが期待されます。

4. 研究の方法

5. に示す試料・情報を対象の患者さんのカルテから収集します。カルテ情報の解析を行ってサルコペニア群と非サルコペニア群に分類し、それぞれの特徴や予後を比較します。また、試料から腫瘍浸潤リンパ球の発現を免疫組織学的に評価し、発現の程度を2群で比較します。

## 5. 使用する試料・情報

生体試料：手術で摘出した食道癌組織

診療情報：診断名・年齢・性別・進行度・血液検査結果・病理検査結果・CT画像

## 6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

## 7. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2026年12月31日

## 8. 個人情報の取り扱い

対象となる患者さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

## 9. お問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 消化器・総合外科 辻本 成範

住所：奈良県橿原市四条町840番地

電話：0744-22-3051

e-mail：akinori227@naramed-u.ac.jp